

だれでも どこでも いつでも楽しめる
ミュージック・ケア
社会福祉法人 パステル



取組をはじめたきっかけは何ですか？

「日本ミュージック・ケア協会」の創設者である加賀谷哲郎氏の「ミュージックでスラム街の子供たちの心をいやす」という理念に共感したことから、平成23年に法人内に日本ミュージック・ケア協会栃木県登録研究会として「とちぎミュージック・ケア研究会」を設立することになりました。

ミュージック・ケア(音楽療法)は地域の赤ちゃんからお年寄りまで、障害がある方からそうでない方まで幅広く、音楽を通して心を響き合わせ、その方の持つ力を最大限に発揮させることができます。「ひとりひとりが輝く瞬間」「表現する喜び」をひき出し、「いきいきとした笑顔」「きらきらした瞳」があふれ出す時間を楽しむことができますと、地域の方々から喜ばれています。

どんな取組を行っていますか？

地域の方々と共に、子育て支援・発達支援・介護予防の様々な目的をもって、セッションを実施しています。

セッションを実施する26名のスタッフは、福祉及びミュージック・ケアの資格を取得しており、福祉職としての立場から、ミュージック・ケアを通して様々な手法を用いてケアを実践しています。

具体的な活動内容としては、音楽を使用し、身体・歌・

楽器・バルーン・スカーフ・新聞紙・シャボン玉など、さまざまな道具を使いながら、楽しく音楽に合わせて体を動かすなどのセッションを行っています。

地域向けに法人内事業所を開放して行うBABY教室やスマイルシニア教室のほか、他法人の福祉施設を定期的に訪問しての活動や、医療的ケア児宅への訪問など、依頼のあるところへ出向いての活動を行っています。

年齢や対象者を問わず、あらゆる方とのセッションを行うことで、地域とのかかわりをスタートさせることができました。参加者同士の交流も深まり、コミュニティの広がりも見られるようになっています。

参加者の「できた」という喜び、楽しい表情をみると、地域に貢献できている実感を感じることができ、活動スタッフのモチベーションの向上にもつながっています。

取組を行う際のポイント

まず一番大事なことは、資格を持っているセッションを行うスタッフが心から楽しむこと。スタッフ自らが楽しむことで、ご利用者に楽しさが伝わると考えています。

「ミュージック・ケア」は「人としての在り方、人とのかわり方」等を学ぶことができ、自然と信頼関係づくりへとつながっていると思います。

また、出張訪問サービスを行うことで、外のこと(他の



エアオーケストラの様子

世界)を知る良い機会になっています。他の施設(老人介護、児童施設等)を訪問することで、スキンシップの重要性や親子の絆の重要性に気付くなど、スタッフの人材育成にもつながりました。

これからの活動について

現在は、栃木県南地区を中心に活動を行っています。今後は、栃木県全域での活動も視野に入れて実践していきたいと考えています。

ミュージック・ケア

- ◆実施日 教室の定期開催(月1回)
随時依頼を受けて訪問など
- ◆費用 無料
- ◆内容
 - ・BABY教室(0歳～3歳児の親子)
 - ・スマイルシニア教室(介護予防)
 - ・デイサービス訪問
 - ・障害児者団体訪問
 - ・子育てサロン、親子ふれあいサロン訪問
 - ・在宅医療ケア児宅の訪問
 - ・法人事業所内の実施

インタビュー協力 石橋 須見江 / 中島 麻里

ミュージック・ケアは自然と信頼関係が育まれていきます。
たくさんの方にこの活動を知って、活用していただきたいです。



ミュージック・ケアは人と人の交流に必要な要素がすべて詰まっていると考えています。人としての在り方、人との関わり方を学ぶことができ、自然と信頼関係をつくることへ繋がる取組です。また、当法人の施設は、地域住民の家族の交流の場になっています。ミュージック・ケアをはじめとしたイベントを開催するなど、地域の交流が図れる場所を続けていきたいと思っています。

社会福祉法人 パステル 常務理事 石橋 須見江

法人概要

法人名 | 社会福祉法人 パステル
所在地 | 小山市乙女625-2
代表 | 石橋 俊一

事業内容 | 障害福祉施設の運営、障害福祉サービス事業、相談支援事業、移動支援事業、障害児通所支援事業 など

評価のポイント

赤ちゃんからお年寄り、また、障害の有無に関わらず幅広い方を対象にしていること、音楽を活用した「ミュージック・ケア」というほかにはない独自性のある取組であることが評価されました